

『作ればわかる！ iPhone プログラミング iOS 7 対応』

本書は iOS 7 対応の書籍ですが、iOS 8 にアップデートされたことにより、サンプルコードが動作しなくなっています。

## ■ 229 ページ 8-3 「サクッと写真加工」を作る

GPUImage ライブラリの内部で "UIInterfaceOrientation" という列挙型が使用されていますが、iOS 8 より "UIInterfaceOrientationUnknown" という値が新たに追加されたため、同梱している GPUImage では全ての値が網羅されていないというエラーが発生しているようです。

この問題は最新バージョンの GPUImage で既に解消されているため、サンプルプロジェクトも GPUImage を差し替えることでビルドが可能になります。

以下が手順になります。

### 1. 最新の GPUImage をダウンロードする

GitHub の下記 URL より最新の GPUImage をダウンロードします。

<https://github.com/BradLarson/GPUImage>

手順については本書 8-2 の「入手方法」(220 ページ～) を参考にしてください。解凍まで進むと GPUImage-master フォルダが作成されます。

### 2. サンプルコードの GPUImage フォルダを置き換える

サンプルコードでは FilterCamera フォルダの直下に GPUImage フォルダがありますが、このフォルダを削除し、先ほどの GPUImage-master フォルダを GPUImage と名前を変えて配置してください。

FilterCamera/

\* FilterCamera/

\* FilterCamera.xcodeproj

\* FilterCameraTests/

\* GPUImage/ ← このフォルダを最新のものに置き換えます

### 3. FilterCameraTests ターゲットを削除する

この状態でビルドするとユニットテスト用のターゲット (FilterCameraTests) で "GPUImage.h" が見つからずエラーとなります。

本書ではユニットテストの方法は取り扱っておりませんので、テスト用のターゲットは削除してしまっても問題ありません。

プロジェクトの設定を開き、左の TARGETS より FilterCameraTests を選択し、ウィンドウ下部の "-" (マイナス) ボタンをクリックして削除してください。

### 4. 64bit 環境向けのビルド設定をする

もしお使いの iPhone が iPhone 5s 以降のデバイスである場合、下記のようなエラーが出ます。

## Dependency Analysis Error

No architectures to compile for (ONLY\_ACTIVE\_ARCH=YES, active arch=arm64, VALID\_ARCHS=armv7 armv7s).

これは iPhone 5s 以降に搭載されている 64bit CPU への最適化が義務づけられた影響によるもので、ビルド対象のアーキテクチャに 64bit を追加することで対応できます。

プロジェクトの設定を開き、左の TARGETS より FilterCamera を選択し、Build Settings タブの Architectures より Valid Architectures を見つけます。

サンプルプロジェクトでは"armv7"と"armv7s"が追加されていますが、ダブルクリックし、リスト左下の "+"(プラス)ボタンをクリックして"arm64"という項目を追加します。

以上の操作でビルドは可能となります。

iOS 8 対応のサンプル「第 8 章 8-3\_FilterCamera.zip」は、以下いずれかのリンクからダウンロードできますので、ご利用ください。

- ・ サンプルファイルのダウンロードページ

<http://www.shoeisha.co.jp/book/download/9784798128221>

- ・ 本書の「追加情報」

<http://www.shoeisha.co.jp/book/detail/9784798128221>